

つきたい力

「考えの形成」をめざした情報・言語の活用力

取組みの概要・ポイント

- ・「考えの形成」を意識した単元づくり
- ・児童の感想、疑問から始める単元計画(わからんベース)
- ・児童の考えのズレを生む学習課題づくり(判断でしかける=限定・比較・否定)
- ・デジタルとアナログの併用

具体的な取組みの内容「考えの形成」をめざした授業づくりと手立て

【「考えの形成」を意識した単元づくり】

「わからないこと」を基にした課題づくり
筆者の工夫やいいところを見つけよう
→作品のわからない、なんでだろうを見つけよう

構造と内容の把握

子どもたちの「わからない」を大切に

「情報活用力」「言葉でまとめる力」の育成に向けたしかけ
○判断でしかける!(読み手の視点での考えの形成)
(限定・比較・否定→しばって、くらべて、のりこえる)
☆子どもたちの考えのズレによって対話が生まれる
ゆさぶり発問 エラーモデル 対比資料 本文のみ教材文
事例の書き換え 題名の書き換え など
→「筆者はなんでこんな風にしたんだろう」
(書き手の視点での考えの形成)につなげる

精査・解釈

・比較対象
(自分の考え⇔筆者の考え)
・選択肢があることで
思考が活性化する
=読み手と書き手の
立場の往還

第2次第○時の
考えの形成
(プロセス)

第2次第○時の
考えの形成
(プロセス)

第2次第○時の
考えの形成
(プロセス)

考えの形成

考えの形成には
「プロセス」と
「ゴール」の両方
が必要

単元最後の考えの形成(ゴール)
☆言語活動例一覧作成
A…学習したことを活かして、考えをまとめる、次のことに
広げていく
(読み手の立場で書く) 例 学習レポート
B…筆者の書き方を使って、説明文を書く
(書き手の立場で書く) 例 ○○を書こう

【語彙の獲得】

- ・教科書巻末「学習に用いる言葉」の教室掲示
- ・慣用句・ことわざの階段掲示



【デジタルとアナログの併用】

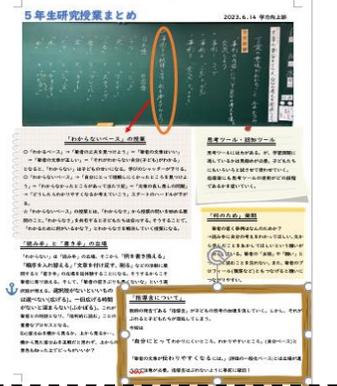
本文・資料・挿絵などの情報操作・
活用が容易になる

☆交流の手段として有効



【教員間での知識・授業実践の共有】

- ・研究授業まとめ…研究授業後配付
☆研究授業後に討議の内容をまとめ、配付することで、
日々の授業につなげている
- ・全体研修…授業づくり研修
アンケート結果等分析・共有
- ・ミニ研修…経験の浅い教員向け研修
- ・学年会議…各単元前に授業案検討
- ・国語通信…学習指導要領、府研修、他校実践の共有
本校実践の共有
- ☆学校全体で同じ方向を向いて取り組めるように!



取組みを通しての子どもの変容

- ・単元の言語活動での書く意欲の高まり、内容の充実が見られる。
- ・「わからない」ことが動機付けとなって、本文をより深く読もうとする姿につながっている。
- ・「授業で、文章や資料などから読み取った情報をもとに、自分の考えをまとめることができましたか」(4~6年 7月91%→12月94%)
- ・「国語の授業は好きですか」(全学年 7月72%→12月76% そう思わない 11%→7%)

その他の取組みについては
下記QRコードへアクセス!!

